

各 位

NPO放送批評懇談会

発表!! 第61回ギャラクシー賞

テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品

テレビ部門「個人賞」「特別賞」

ラジオ部門「DJパーソナリティ賞」

志賀信夫賞 フロンティア賞

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CMの作品、制作者、関係者に贈る賞として61年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

本日、第61回のテレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の入賞作品および、テレビ部門個人賞、特別賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞、志賀信夫賞、フロンティア賞を発表いたします。詳しくは次ページ以降をご覧ください。貴誌／紙、貴メディアでのお取り扱いをお願いいたします。

なお、各部門の大賞、優秀賞、選奨は、5月31日(金)開催の贈賞式で決定、発表いたします。

贈賞式は放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

第61回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時：5月31日(金)午後3時～5時20分(15:00-17:20)

司会：鬼頭里枝 森谷佳奈

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



※上記 YouTube 公式チャンネルでは、過去のギャラクシー賞受賞ドキュメンタリー作品の再生リストを掲載中です。

志賀信夫賞

関口 宏

フロンティア賞

NDキュボケット

日本テレビ放送網

テレビ部門

連続ドラマW「フェンス」

WOWOW NHKエンタープライズ

テレビ静岡55周年記念「イーちゃんの白い杖 特別編」

テレビ静岡

でくのぼう～戦争とPTSD～

山形放送

僕と時々もう1人の僕～トゥレット症と生きる

CBCテレビ

ザ・ドキュメント「引き裂かれる家族 検証・揺さぶられっ子症候群」

関西テレビ放送

ETV特集「“玉碎”の島を生きて(2)～サイパン島 語られなかった真実～」

日本放送協会 NHKエンタープライズ グループ現代

NHKスペシャル「“冤罪”の深層～警視庁公安部で何が～」

日本放送協会

幾月夜纏ひて 羽後町・西馬音内の盆踊

秋田放送

ナンデモ特命係発見らくちゃく!～28歳の小卒女性SP! 完全版～

福岡放送

NNNDキュメント'24「釜ヶ崎の肖像 明日への3000枚」

読売テレビ放送

ながさき原爆記録全集 山端庸介原爆全写真 被爆翌日117枚全解析

長崎ケーブルメディア

SBCスペシャル「78年目の和解～サンダカン死の行進・遺族の軌跡～」

信越放送

NHKスペシャル 未解決事件 File.10「下山事件」第1部 第2部

日本放送協会

映像'24「労組と弾圧～関西生コン事件を考える～」

毎日放送

特別賞

金曜ドラマ「不適切にもほどがある!」

TBSテレビ TBSスパークル

個人賞

神木隆之介

連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の演技

報道活動部門

コウセイラジオ～break through the wall～

エフエムとよた 中日新聞社 ひまわりネットワーク

トゥレット症に関する一連の報道活動

CBCテレビ

香川県の「ゲーム条例」を巡る検証報道

瀬戸内海放送

キャンペーン「かわるPTA」

東海テレビ放送

「アナウンサーの命を守る呼びかけ」(一連の取材・制作活動 緊急報道時の活用や、文言の公開・社会還元取り組み全般)

日本放送協会

文化放送ロービジョンプロジェクト

文化放送

ラジオ部門

SBSラジオギャラリー「方言アクセントエンターテインメント～なまってるのは、東京の方かしんねーんだかな～」

静岡放送

霜降り明星のオールナイトニッポン

ニッポン放送

空想労働シリーズ サラリーマン

RKB毎日放送

朝はあけたり～決死の密航 奄美日本復帰を伝えた男たち～

南日本放送

RKKラジオ報道特別番組「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」

熊本放送

文化放送年末スペシャル 小松左京クロニクル「日本沈没を探す旅」

文化放送

FBCラジオスペシャル「輝く!ゴールデンエイジふくい～生きる喜び歌にのせて～」

福井放送

TOKYO FM 小澤征爾追悼番組「セイジ、フォーエバー」

エフエム東京

DJパーソナリティ賞

オードリー

「オードリーのオールナイトニッポン」(ニッポン放送) パーソナリティとして

CM部門

テレビCM

大塚製薬 カロリーメイト「光も影も」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

CBCテレビ 公共キャンペーン・スポット「人生100年時代を考える」～きぬさんは“看護師”一筋80年

CBCテレビ

相鉄ホールディングス 相鉄・東急直通線開業記念 相鉄東急直通線記念ムービー「父と娘の風景」

相鉄ホールディングス good design company SIX 博報堂 博報堂ケトル スプーン

東京ガス 企業「母の推し活」

東京ガス 電通 電通クリエイティブX KEY pro

日本マクドナルド 夜マック シリーズ「オードリーのオールナイトマック」

日本マクドナルド TBWA HAKUHODO ロボット

ユー・エス・ジェイ ユニバーサルスタジオジャパン シリーズ「引越し篇」「初恋篇」「二度とない日々篇」

ユー・エス・ジェイ 電通 TYO

ラジオCM

エフエム東京 企業「ラジオの夜」

エフエム東京 ランダムハウス

大日本除虫菊 金鳥の渦巻、キンチョール、虫コナーズプレミアム、蚊がいなくなるスプレー、細キンチョール、蚊対策 シリーズ マスクをはずしてシリーズ「1」「2」「3」「4」「5」「6」

大日本除虫菊 電通 (Creative KANSAI) ヒッツコーポレーション

ウェブCM

ABJ STOP海賊版「ありがとう君の漫画愛」

ABJ 博報堂 博報堂プロダクツ

サントリーホールディングス ザ・プレミアム・モルツ シリーズ「飲み誘うのムズすぎ問題篇」

サントリーホールディングス 電通 マテリアル 電通クリエイティブX Think & Craft

東海旅客鉄道 東海道新幹線「すべての会いたい人へ」

東海旅客鉄道 電通 JR東海エージェンシー SUPER MARKET

日本マクドナルド マックフライポテト「ティロリックス」YOASOBI「群青」xVaundy「花占い」

日本マクドナルド 電通 ギークビジュアル

ヤマハ 企業「だれでも第九」

ヤマハ 電通東日本 EPOCH 電通イベントオペレーションズ Candee 電通クリエイティブX マテリアル リーフビジョン アイエムエス ベンタゴン

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、5月31日(金)開催「第61回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。●詳しい結果は6月6日(火)発売の「GALAC」2024年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。



第61回ギャラクシー賞 テレビ部門

委員長 古川柳子

副委員長 桧山珠美

委員 石田研一 永麻理 太田省一 岡室美奈子 影山貴彦 加藤久仁 戸田桂太 並木浩一 藤田真文
松田健次 松山秀明

2023年度のギャラクシー賞テレビ部門には、上期171本、下期197本の応募をいただき、これに月間賞48本を加えた416作品が審査対象となりました。丁寧な視聴と熱心な議論を経て絞り込まれたなかから、厳正な審査の結果、入賞14本、特別賞1本、個人賞1本が選出されました。

さまざまな問題が噴出する世相を映してか、特定テーマへの集中はあまり見られず多様な取り組みが展開されるなか、現代社会の死角や歴史の亀裂に直球を投げ込んでくるような力作が多いことが目を引きました。衛星波、ケーブルテレビ局からの入選も特筆しておきたいです。独自の視点を作品に編み上げる力量に加え、報道ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティいずれの部門でも、閉塞感が強まる空気をテレビ表現で突破しようとする矜持を感じる作品に評価が集まりました。(古川柳子)

テレビ部門入賞作品

以下の14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出され、5月31日発表されます。

連続ドラマW「フェンス」

WOWOW NHK エンタープライズ

テレビ静岡 55周年記念「イーちゃんの白い杖 特別編」

テレビ静岡

でくのぼう～戦争とPTSD～

山形放送

僕と時々もう1人の僕～トゥレット症と生きる

CBC テレビ

ザ・ドキュメント「引き裂かれる家族 検証・揺さぶられっ子症候群」

関西テレビ放送

ETV 特集「“玉碎”の島を生きて(2)～サイパン島 語られなかった真実～

日本放送協会 NHK エンタープライズ グループ現代



第 61 回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2024/4/26

NHK スペシャル「“冤罪”の深層～警視庁公安部で何が～」

日本放送協会

幾月夜纏ひて 羽後町・西馬音内の盆踊

秋田放送

ナンデモ特命係発見らくちゃく！～28歳の小卒女性 SP！完全版～

福岡放送

NNN ドキュメント' 24「釜ヶ崎の肖像 明日への 3000 枚」

読売テレビ放送

ながさき原爆記録全集 山端庸介原爆全写真 被爆翌日 117 枚全解析

長崎ケーブルメディア

SBC スペシャル「78 年目の和解～サンダカン死の行進・遺族の軌跡～」

信越放送

NHK スペシャル 未解決事件 File.10「下山事件」第 1 部 第 2 部

日本放送協会

映像' 24「労組と弾圧～関西生コン事件を考える～」

毎日放送

テレビ部門特別賞

金曜ドラマ「不適切にもほどがある！」

TBS テレビ TBS スパークル（2024 年 1 月 26 日～3 月 29 日放送）

<選評>

金曜ドラマ「不適切にもほどがある！」は、昭和を令和の視点から、令和を昭和の視点から相互批評的に見ることを通して、より生きやすい世の中を模索しようとした志の高いドラマです。タイムスリップによって昭和と令和双方の登場人物たちが自らの生きる時代を見つめ直し、価値観をアップデートしていくプロセスを、ミュージカルシーンを織り交ぜながら温かく描きました。

とりわけ、テレビ局を舞台に設定することで、SNS 等による批判や炎上を恐れて萎縮し、当たり障りのない方向へと流されがちな制作現場に対して一石を投じたことは、特筆に値します。テレビのこれからのためにあえて挑戦的な番組を制作した勇気と卓抜な発想力に敬意を表し、特別賞を贈ります。



テレビ部門個人賞

神木隆之介

連続テレビ小説「らんまん」(NHK)の演技

<選評>

子役から出発して数々のテレビドラマや映画に出演する傍ら、声優としても活躍し、その卓抜な演技力は折り紙付きの神木隆之介さん。NHK 連続テレビ小説「らんまん」では、植物学者になるという夢に向かって邁進し、植物を愛し、自らの欲望に正直に生きる榎野万太郎を、愛すべき主人公として見事に造形しました。

万太郎は、土佐随一の造り酒屋・峰屋に生まれ何不自由なく育ちながら、小学校中退であるがために「名もなき草」となりますが、やがて植物学者として自らの名前を歴史に刻むだけでなく、妻の寿恵子はじめ周囲の人々に光を当てる存在となっていくます。神木さんは、そんな万太郎の波乱万丈の人生を、ストイックでありながら、どこか愛嬌のある表情豊かな演技で演じ切り、「雑草という草はない」という万太郎の一貫した思想に説得力と彩りを与えました。男性主人公は難しいと言われる連続テレビ小説を成功に導いた素晴らしい演技を讃え、個人賞を贈ります。



<プロフィール>

1993年5月19日生まれ。埼玉県出身。95年CMデビュー、99年テレビドラマ「グッドニュース」で初のドラマレギュラー出演、2006年「探偵学園Q」でドラマ初主演。「風のガーデン」(フジテレビ)、「やけに弁の立つ弁護士が学校でほえる」(NHK)、「コントが始まる」(日本テレビ)、「神木隆之介の撮休」(WOWOW)、NHK 連続テレビ小説「どんと晴れ」「らんまん」、大河ドラマ「義経」「平清盛」「いだてん～日本オリムピック噺～」など出演多数。映画は05年『妖怪大戦争』で主演を務め第29回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。『桐島、部活やめるってよ』『るろうに剣心』『3月のライオン』『大名側産』『ゴジラ-1.0』など代表作多数。劇場アニメでは『千と千尋の神隠し』『サマーウォーズ』『君の名は。』などの声優を務める。20年エランドール新人賞、24年に第66回ブルーリボン賞主演男優賞、第47回日本アカデミー賞優秀主演男優賞、第32回橋田賞受賞。

第61回ギャラクシー賞 ラジオ部門

委員長 桜井聖子

副委員長 仲宇佐ゆり 山田真嗣

委員 石井育子 井上佳央里 川喜田 尚 北郷裕美 下田まり子 真銅健嗣 永須智之 松崎泰弘 三原 治

ラジオ部門の応募総数は、前年度より10本増の104本。内訳は、生ワイド10本、音楽&エンターテインメント45本、ドラマ13本、報道・ドキュメンタリー36本でした。コミュニティFMを含め、地元



局の特色を生かした力作が揃いました。

生ワイドは、ライブ感を大事にした番組のほか、ヤングケアラーや戦争の特集など番組枠を柔軟に活用した特別企画が目立ちました。音楽&エンターテインメントでは、音声メディアならではの遊び心と企画力が光る多様な作品が並び、ドラマは、本格的なラジオドラマは少ないものの、朗読、講談、ドキュメンタリータッチなど演出の手法にバラエティ豊かな作品が集まりました。報道・ドキュメンタリーは、震災、戦争の記憶と継承、冤罪事件、ジェンダーなど社会が抱える様々な問題や課題と向き合い、証言と記録で世論の怒りをラジオに落とし込むなど、制作者の熱い視線を感じる作品が多くありました。

議論と数度にわたる投票の結果、出演者と制作者の熱量が一層光った入賞作品 8 本を選出しました。

(桜井聖子)

ラジオ部門入賞作品

以下の8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出され、5月31日発表されます。

SBS ラジオギャラリー

「方言アクセントエンターテインメント～なまってんのは、東京の方かもしんねーんだかな～」

静岡放送

霜降り明星のオールナイトニッポン

ニッポン放送

空想労働シリーズ サラリーマン

RKB 毎日放送

朝はあけたり～決死の密航 奄美日本復帰を伝えた男たち～

南日本放送

RKK ラジオ報道特別番組「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」

熊本放送

文化放送年末スペシャル 小松左京クロニクル「日本沈没を探す旅」

文化放送

FBC ラジオスペシャル「輝く！ゴールデンエイジふくい～生きる喜び 歌にのせて～」

福井放送

TOKYOFM 小澤征爾追悼番組「セイジ、フォーエバー」

エフエム東京



ラジオ部門DJパーソナリティ賞

オードリー

「オードリーのオールナイトニッポン」(ニッポン放送) パーソナリティとして

<選評>

15年続く「オードリーのオールナイトニッポン」。今年2月の番組イベントは東京ドームに53,000人を動員し、会場、ライブビューイング、生配信合わせて16万人の熱狂を呼んで、ラジオ史に残る記録を打ち立てました。結果として、ラジオをカルチャーとして進化させる社会現象を生み出しています。その影響力は聴取率やリスナー数、スポンサー数だけにとどまらず、多くのパーソナリティにも刺激を与え、若い世代のラジオへの関心を大きく高めました。



若林正恭さんはこの番組を代表作ととらえて真摯に向き合い、心を許したトークで深い共感を集めています。春日俊彰さんが巧みに受け、笑いを誘う姿はコンビとして絶妙です。

番組が、若林さんと春日さん、「チーム付け焼き刃」として親しまれる制作陣、「リトルトゥース」と呼ばれる番組リスナーらが時間を共有する大切な「居場所」であり続け、ラジオの世界を豊かにすることを期待します。

<プロフィール>

1978年東京都出身の若林正恭と、79年埼玉県出身の春日俊彰による漫才コンビ。ともに在学していた日本大学第二中学校・高等学校で出会う。2000年4月にコンビ結成。当初のコンビ名は「ナイスミドル」で、05年4月より現在のコンビ名「オードリー」へ。08年「M-1グランプリ2008」で敗者復活戦から決勝に勝ち上がり、大ブレイク。09年にスタートした「オードリーのオールナイトニッポン」は絶大な人気を誇る。テレビのレギュラー番組には、「スクール革命！」(日本テレビ)、「100カメ」(NHK)、「あちこちオードリー」(テレビ東京)、「オドオド×ハラハラ」(フジテレビ)などがある。

第61回ギャラクシー賞 CM部門

委員長 家田利一

副委員長 風間恵美子

委員 伊藤健志 今宿裕昭 片桐理 川野康之 木下一郎 生野徹 中島和哉 野上信子 平岩モトイ
村田玲子 山下治城

第61回ギャラクシー賞CM部門は、上期130本、下期156本、計286本の応募をいただきました。内訳は、テレビCM125本、ラジオCM71本、ウェブCM90本でした。今期は前期(第60回)から応募を開始したウェブCMの応募が増えましたが、全体としての応募本数は減少しています。



私たちは、今年も、メディアの環境にさらなる変化を感じています。テレビ視聴の平均年齢は以前から上がっています。また、若い世代のテレビ視聴者の減少にはなかなか歯止めがかかりません。応募の傾向を見ても、それに合わせるように、ウェブCMに力を注ぐ企業が増えていると感じました。昨年度のウェブCMの応募枠の新設は時代の流れに合ったタイミングだったように思います。

ギャラクシー賞は、テレビCM、ラジオCM、ウェブCMをノンセクションで審査します。今期も私たち審査員は議論を尽くし、入賞の13作品を決定しました。(家田利一)

CM部門入賞作品

以下の13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出され、5月31日発表されます。

【テレビCM】

大塚製薬 カロリーメイト「光も影も」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

CBC テレビ 公共キャンペーン・スポット

「人生100年時代を考える」～きぬさんは“看護師”一筋80年

CBC テレビ

相鉄ホールディングス 相鉄・東急直通線開業記念 相鉄東急直通記念ムービー「父と娘の風景」

相鉄ホールディングス good design company SIX 博報堂 博報堂ケトル スプーン

東京ガス 企業「母の推し活」

東京ガス 電通 電通クリエイティブX KEY pro

日本マクドナルド 夜マック シリーズ「オーダーのオールナイトマック」

日本マクドナルド TBWA HAKUHODO ロボット

ユー・エス・ジェイ ユニバーサルスタジオジャパン

シリーズ「引越し篇」「初恋篇」「二度とない日々篇」

ユー・エス・ジェイ 電通 TYO

【ラジオCM】

エフエム東京 企業「ラジオの夜」

エフエム東京 ランダムハウス

大日本除虫菊 金鳥の渦巻、キンチョール、虫コナーズプレミアム、蚊がいなくなるスプレー、

細キンチョール、蚊対策 シリーズ マスクをはずしてシリーズ「1」「2」「3」「4」「5」「6」

大日本除虫菊 電通 (Creative KANSAI) ヒッツコーポレーション



第 61 回ギャラクシー賞 /NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS /プレスリリース PRESS RELEASE 2024/4/26

【ウェブCM】

ABJ STOP 海賊版「ありがとう君の漫画愛」

ABJ 博報堂 博報堂プロダクツ

サントリーホールディングス ザ・プレミアム・モルツ シリーズ「飲みに誘うのムズすぎ問題篇」

サントリーホールディングス 電通 マテリアル 電通クリエイティブX Think & Craft

東海旅客鉄道 東海道新幹線「すべての会いたい人へ」

東海旅客鉄道 電通 JR 東海エージェンシー SUPER MARKET

日本マクドナルド マックフライポテト「ティロリミックス | YOASOBI『群青』× Vaundy『花占い』」

日本マクドナルド 電通 ギークピクチャーズ

ヤマハ 企業「だれでも第九」

ヤマハ 電通東日本 EPOCH 電通イベントオペレーションズ Candee 電通クリエイティブX マテリアル リーフビジョン アイエムエス ペンタゴン

第 61 回ギャラクシー賞 報道活動部門

委員長 茅原良平

副委員長 長井展光

委員 市川哲夫 市村 元 小泉世津子 齊藤潤一 塚本 茂 西畠泰三 樋口喜昭 平岩 潤

今期は上期 11 本、下期 19 本の計 30 本と昨年を上回る応募がありました。参加社はテレビ・ラジオのキー局、ローカル局、ケーブルテレビ局、コミュニティ FM とバラエティに富んでおり、例年以上に多種多様な報道活動が並びました。

長期にわたる取材調査を行い、放送で発信し続けた継続力。他メディアとの連動や事業を通じて活動の幅を広げた工夫。他には見られない活動内容の独自性。地域社会への貢献度。「権力の監視」という点での成果をはじめ、制作者がいち生活者としての視点を持ち、いま社会で起きている問題を他人事にせず、より良い社会を目指して行動を起こした当事者意識の強さや報道機関の人間としてできることは何か。難しい課題と向き合い、日々考え続けるたゆみない努力まで、私たち選奨委員は活動から浮かび上がる制作者たちの思いをしっかりと感じ取り、最終選考にノミネートされた 10 本の作品について投票と議論を重ねて、6 本の入賞作を選びました。(茅原良平)

報道活動部門入賞作品

以下の 6 本から、大賞 1 本、優秀賞 2 本、選奨 3 本が選出され、5 月 31 日発表されます。



第61回ギャラクシー賞 / NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS / プレスリリース PRESS RELEASE 2024/4/26

コウセイラジオ～break through the wall～

エフエムとよた 中日新聞社 ひまわりネットワーク

トゥレット症に関する一連の報道活動

CBC テレビ

香川県の「ゲーム条例」を巡る検証報道

瀬戸内海放送

キャンペーン「かわるPTA」

東海テレビ放送

「アナウンサーの命を守る呼びかけ」

(一連の取材・制作活動 緊急報道時の活用や、文言の公開・社会還元の取り組み全般)

日本放送協会

文化放送ロービジョンプロジェクト

文化放送

ギャラクシー賞フロンティア賞

「Nドキュポケット」 日本テレビ放送網

<選評>

日曜深夜の硬派ドキュメンタリー番組「NNN ドキュメント」の縮尺版「Nドキュポケット」が2022年3月からYouTubeで配信され、多くのユーザーを獲得しています。4～6分程度に再編集したコンテンツは通常のテレビ番組の構成とは異なり、冒頭にいきなり山場のシーンがあり、間を作らずに次々とストーリーが展開していきます。今年4月末時点で187本が公開され、総再生回数は2億回に迫ろうとしています。100万回再生を超える作品が39本、最多は1,480万回という爆発的な数字を記録するなど、配信を活用したショート動画の訴求力は高く、20～30代の若い年齢層も含めた新しい視聴者を幅広く開拓しています。

“ポケットに入るNNNドキュメント”はメディアや時間帯の枠を超えたワンソース・マルチユースのモデルケースであり、深夜帯の民放ドキュメンタリーに新しい世界への道を拓きました。





放送批評懇談会 第 15 回志賀信夫賞

関口 宏 タレント・司会者・俳優

志賀信夫賞選考委員会 [委員長] 音 好宏 [選考委員] 川喜田 尚 藤田真文 出田幸彦 桜井聖子

「志賀信夫賞」は、当会創設メンバーである志賀信夫の長年にわたる放送批評活動の功績を記念して創設されました。広く放送文化、放送事業の発展に顕著な貢献をした個人を顕彰することが目的です。慎重かつ多角的な討議を重ねた結果、第 15 回志賀信夫賞に関口宏氏を選出しました。

<選評>

関口宏さんは、1987 年 10 月から今年 3 月まで 36 年半にわたって「サンデーモーニング」の司会を務められました。報道情報番組の単独司会としてはわが国最長、日曜朝の顔としてすっかりおなじみです。

その週のニュースとスポーツを個性的なコメンテーターとともにわかりやすく解説・分析するウィークリーマガジンというスタイルを自らが提案し、ともすれば難解になりがちな時事問題をここまでお茶の間に近いものに定着させたのは、豊富な知識と経験に裏打ちされた関口さんの絶妙なスタジオさばきと伝え方の工夫があってこそです。

「硬派でありながら身近な報道情報番組」というジャンルを牽引し定着させた功績は志賀信夫賞にふさわしいものと言えます。



<プロフィール>

せきぐち・ひろし 1943 年東京生まれ。63 年シオノギ劇場「お嬢さんカンパイ」でドラマデビュー。以降、「青い山脈」「花と果実」「旅路」「元禄大平記」「油断」などのテレビドラマ、東宝『社長シリーズ』、日活『白鳥』『四つの恋の物語』などの映画に出演。66 年「ヤング 720」、70 年「ステージ 101」「スターキー夜」のち、TBS「クイズ 100 人に聞きました」「わくわく動物ランド」「関口宏の東京フレンドパーク 2」「サンデーモーニング」、読売テレビ「どっちの料理ショー」、日本テレビ「知ってるつもり!」など実に幅広いジャンルの番組で司会者として活躍。77 年、小柳ルミ子『星の砂』の作詞で日本作詞大賞作品賞を受賞。著書に『人間これでいいのかな』（フレーベル館）、『テレビ屋独白』（文藝春秋）などがある。

■志賀信夫賞過去の受賞者／敬称略、肩書は当時

第 1 回 澤田隆治（日本映像事業協会会長）、第 2 回 後藤亘（エフエム東京取締役相談役、東京メトロポリタンテレビジョン代表取締役会長）、第 3 回 植村伴次郎（東北新社最高顧問）、第 4 回 藤田潔（ビデオプロモーション名誉会長）／TBS『調査情報』、第 5 回 石井ふく子（テレビプロデューサー）、第 6 回 松尾羊一（放送評論家）、第 7 回 山本雅弘（毎日放送最高顧問）、第 8 回 西村泰重（J:COM 初代社長）、第 9 回 川端和治（弁護士、BPO 放送倫理検証委員会前委員長）、第 10 回 今野勉（テレビマンユニオン最高顧問）、第 11 回 樋泉実（北海道大学客員教授・電通総研フェロー・北海道テレビ相談役）、第 12 回 和崎信哉（WOWOW 相談役）、第 13 回 川平朝清（沖縄放送協会初代会長）、第 14 回 岡崎栄（演出家、脚本家）



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎやらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

- 【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1
 - 【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1
 - 【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9
 - 【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3
 - 【その他】志賀信夫賞 1、フロンティア賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1
- (上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2009 年度（第 47 回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<フロンティア賞>

放送界の未来を切り拓く挑戦を果たした番組、仕組み等を顕彰する。2015 年度（第 53 回）創設。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2006 年度（第 44 回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

- 1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。
- 1989 年度 第 27 回、ラジオ部門独立。
- 1993 年度 第 31 回、ラジオ部門に「DJパーソナリティ賞」新設。
- 1995 年度 第 33 回、CM部門設立。
- 2002 年度 第 40 回、報道活動部門設立。
- 2006 年度 第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。
- 2009 年度 第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。
- 2015 年度 第 53 回、テレビ部門にテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去を受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://www.houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

以上